



# やなぎみわ展 神話機械

MIWA YANAGI: Myth Machines

2019年7月6日(土)～9月1日(日)

Sat., July 6 – Sun., September 1 2019

開館時間: 9:30～17:00 (最終入場は16:30)

休館日: 月曜日 7/16(火)、8/13(火) 但し7/15(月)、8/12(月)は開館

観覧料: 一般・大学生 1,000円(800円) 高校生 500円(400円) 小・中学生 300円(200円)

( )内は前売券、および20名以上の団体料金/前売券は福島県立美術館総合受付にて5月25日(土)から7月5日(金)まで販売  
身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳をお持ちの方は企画展・常設展とも無料  
(身障、療育手帳については第1種、保健福祉手帳は1級の場合、付き添いの方1名も無料)

主催: 福島県立美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会、福島民友新聞社、福島中央テレビ

協賛: ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜、JAふくしま未来、JAグループ福島

助成: 芸術文化振興基金

協力: 京都造形芸術大学、香川高等専門学校、群馬工業高等専門学校、福島県立福島工業高等学校、

京都工芸繊維大学 ROBOCON挑戦プロジェクト、一色事務所、堀内カラー、

被災地からの発信・心の復興支援事業実行委員会

企画協力: 一般社団法人MIWA YANAGI OFFICE

【写真】(女神と男神が桃の木の下で別れる:川中島)(部分)2016年 作家蔵



福島県立美術館  
Fukushima Prefectural Museum of Art

# やなぎみわ展 神話機械

MIWA YANAGI: Myth Machines

2019年7月6日(土)～9月1日(日)

Sat., July 6 – Sun., September 1 2019

1990年代から現在に至るまで、現代美術のみならず演劇界でも忘れられないアートシーンを毎回創り出してきた美術家やなぎみわ(1967～)。《エレベーター・ガール》で最初に注目を浴びたやなぎは、《マイ・グランドマザーズ》や《フェアリー・テール》といった一連の写真作品で世界的に評価を受け、2009年には第53回ヴェネチア・ビエンナーレ日本館代表となる一方、翌2010年には本格的に演劇プロジェクトを始めます。大正期の日本を舞台に、新興芸術運動の揺籃を描いた「1924」三部作で話題を集めるほか、特に台湾製のトレーラー車を母体に2016年から日本各地を巡礼する野外劇は大きな感動を与えました。その舞台作品と並行し、日本神話の物語をモチーフに、福島市内の果樹園で桃を撮影した新作シリーズを制作しており、今回、これらをまとめて、日本で初めて発表します。また本展に向け、京都、高松、前橋、福島の大学等と連携した「モバイル・シアター・プロジェクト」が立ち上がり、マシンによる神話世界も展覧会場に生み出されます。このマシン制作に本県からは、福島県立福島工業高等学校の生徒が携わっています。美術と舞台の両極を往還することで生まれるやなぎ作品は、スペクタクル性とドキュメンタリー性が交錯し、虚実を幾重にも越境していくものです。待望された10年ぶりの本個展では、これまで以上にやなぎの汲み尽くせぬ創造の泉に迫ります。

## 【関連イベント】

**ライブパフォーマンス『MM』** ※本プロジェクトは、JSPS科研費 JP17H00910に関連する作品です。  
構成・演出: やなぎみわ 出演: 高山のえみ 音楽: 内橋和久

7月13日(土)・14日(日) 19:30開演(19:00開場) / 企画展示室 / 各回先着90名 / 料金: 一般・大学生2,000円、高校生1,000円(展覧会観覧券付)、展覧会観覧割引・無料となる場合も左記料金 / 5月25日(土)より美術館総合受付にて販売・電話予約可 / 上演時間1時間程度 / 未就学児童のご入場はご遠慮ください。

## やなぎみわトークショー

7月6日(土) 14:00～ / 美術館講堂 / 無料 / 講師: やなぎみわ氏、聞き手: 早川博明(当館館長)

## ロボット教室

8月3日(土) 13:00～16:30 福島県立美術館、福島県立福島工業高等学校  
講師: 福島県立福島工業高等学校 教諭 吉田健氏 / 費用: 無料 / 対象: 小学5年生～中学生 / 要申込 / 先着10名(保護者同伴可) / パソコンを使って簡単なプログラムを作り、LEDを点灯させる体験をします。

## 触って、話して、見て楽しむ美術鑑賞ワークショップ

### 「神話と機械を見聞きする」

9月1日(日) 要申込 / 内容: 見えない人、見える人一緒に、触ったり、音に耳を澄ませたり、話したりしながら、やなぎみわの神話機械、神話の世界を鑑賞します。 / 講師: やなぎみわ氏、当館学芸員  
\*内容の詳細、申込要領は、福島県立美術館ニュース2019年8-9月号が当館ホームページをご覧ください。

## 担当学芸員によるギャラリートーク

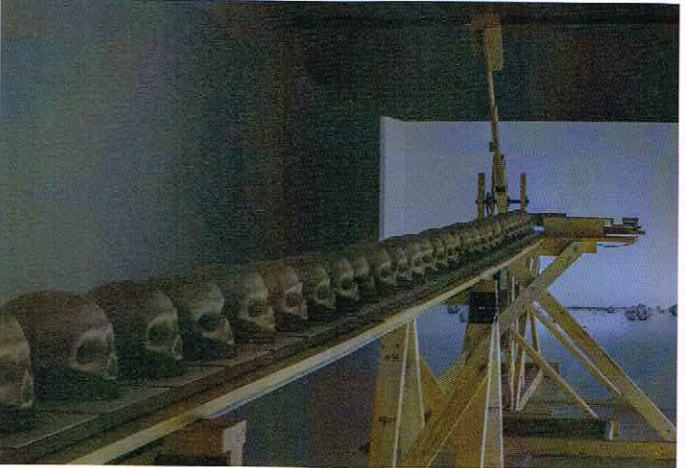
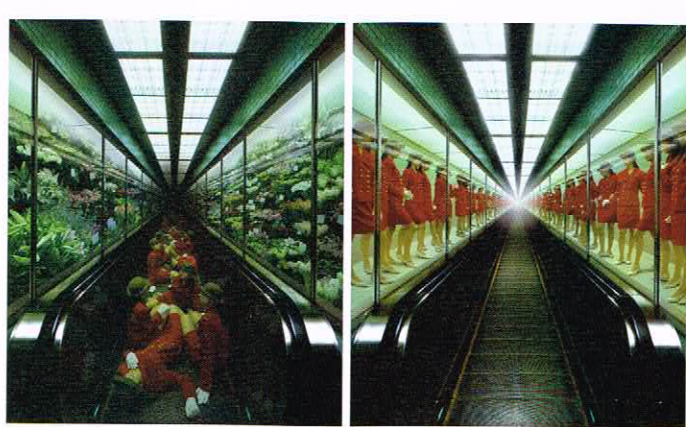
7月27日(土)、8月10日(土) いずれも15:00～16:00

観覧券購入のうえ、企画展示室入口にお集まりください。

同時開催: 河野保雄コレクション展 6月29日(土)～9月1日(日) 美術館2階常設展示室



【交通のご案内】  
電車: JR福島駅東口より福島交通飯坂線→「美術館図書館前駅」下車、徒歩2分  
バス: JR福島駅東口より福島交通バス9番のりばから市内循環もりん2コース→「県立美術館入口」下車、徒歩3分  
タクシー: JR福島駅東口、西口より約5分 車: 東北自動車道福島飯坂ICより約15分、福島西ICより約20分



【図版・上、左から】  
(案内線の部屋1F)1997年 京都市美術館蔵  
(My Grandmothers: YUKA)2000年 作家蔵  
(Untitled I)2004年 作家蔵  
(桃を投げる)2018年 作家蔵  
(神話機械:ムネメー(投擲マシン))2019年 撮影:豊信匡  
被災地からの発信・心の復興支援事業実行委員会蔵

